

2009 年度

松浦大健闘 2位！ 松岡は4位

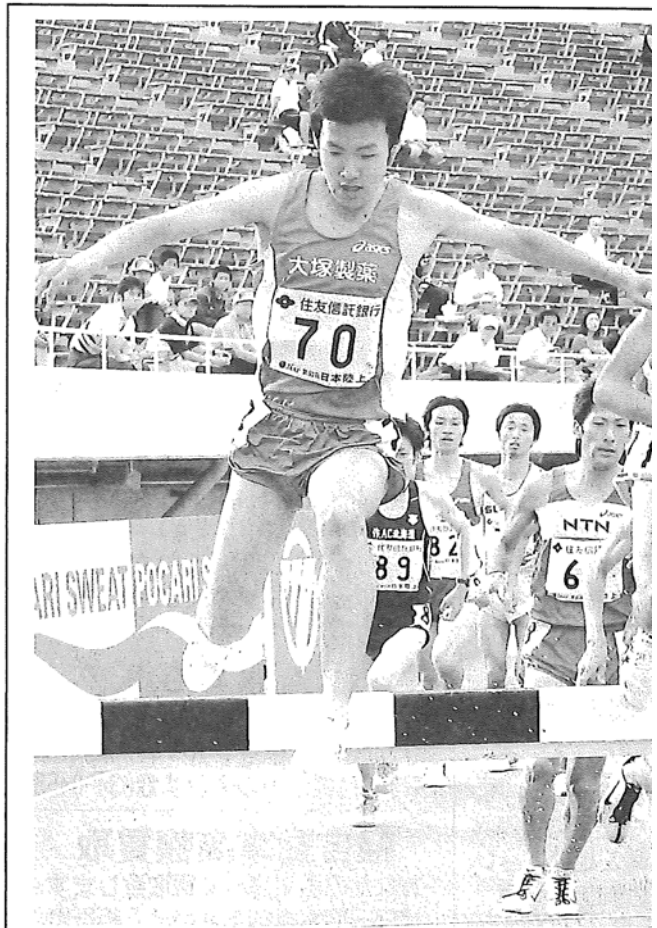
日本選手権 (広島県：広島広域)

松浦貴之

3000mSC 8分37秒08

松浦 男子 2位
3000障害

松岡、男子5000で4位



勝ちにこだわり前へ

松浦

最後の最後まで前を行くランナーの背中を追い掛けた。男子3000m障害の松浦(大塚製薬)はゴール直前で一人をかわし2位でゴール。男子3000m障害で自己新の8分37秒08で走り2位に入った松浦。広島広域公園陸上競技場

自己記録を2秒26縮める8分37秒08をマークした。「勝ちにこだわる」。国内最高の舞台の前に宣言した通りのレースを展開。序盤から先頭争いに加わり一周75秒前後のペースで走った。このまま順調に行くかとみられたが、23人とレース参加人数が多くコース取りに苦

勞。水壕(こう)や障害の着地でも何度かバランスを崩し一時、中位まで後退した。それでもスピートと落とさず果敢に障害に挑み、上位との差を縮めた。立て直しに成功すると、終盤の追い上げにつなげた。昨春、入社してから3000m障害を専門種目に選択。技術・走力を磨

き、日本選手権初出場にこぎつけた。河野監督は「1年間、技術練習に取り組んだ成果」とこの日の走りを評価した。表彰台に上る快挙にも、松浦は「これで満足していたら上にはいけない」と気を緩める様子はない。表彰台の頂点を目指し走り続ける。(城福)

「順位狙ったが」

○：男子5000mの松岡佑(大塚製薬)は写真には目標の表彰台にあと1歩届かず4位。レース序盤は1000mを2分40秒前半の速いペースで積極的に仕掛け、日本人2番目につけた。中盤をすぎてから徐々に順位を落とし5位に後退。それでも終盤は何とか立て直し、順位を一つ上げてゴールした。



松浦は「我慢するべきところでは我慢できなかったが、昨年の14位を大きく上回った。日本選手権は順位を狙った大会だった。これからはタイムを狙っていく。スピード練習に取り組み残りのシーズンで自己記録の更新を目指す。